

サステイナブルな「ボタニカルDHA」で、持続可能な社会を作る
ボタニカルニュートリション研究会 マスコミセミナーレポート
サステイナブルな未来を築く、ボタニカル DHA の可能性
～ボタニカル DHA 研究報告～

子供の脳活性・脳外傷・妊婦のリスク低減・死亡率減少など、「ボタニカルDHA」の研究結果を報告

ボタニカルニュートリション研究会は、2月16日（木）、ベルサール八重洲（東京・中央区）にて、『ボタニカルニュートリション研究会 マスコミセミナー サステイナブルな未来を築く、ボタニカルDHAの可能性～ボタニカルDHA研究報告～』を開催しました。

「ボタニカルニュートリション研究会」は、世界の人々が豊かな食生活を送るため、ライフサイエンスに基づいて環境負担の低いサステイナブルな栄養素の研究や、取り組みに関する情報発信および共有、などの活動を通じて、社会に貢献することを目的に発足したものです。

当日は、甲南大学工学部生物学科教授の本多大輔先生より、ラビリントウ類と系統分類と海洋生態系における役割について、DSM ニュートリションプロダクツチャイナニュートリションサイエンス&アドボカシーディレクターのチャンウェイゴ先生より、『ボタニカル DHA』の臨床試験に基づいた有用性についてお話していただきました。



講演中の本多大輔先生



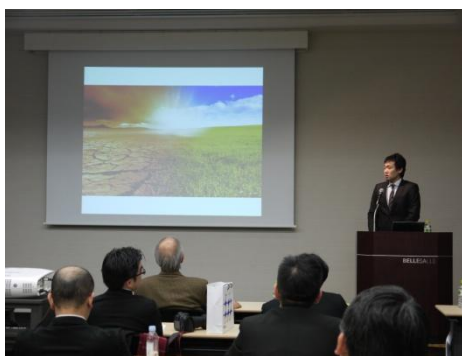
講演中のチャンウェイゴ先生



会場には多くの記者が来場。
発表を熱心に聞く姿が見られました。

◆DSM ニュートリションジャパンのサステイナビリティへの取組み

まず、ボタニカルニュートリション研究会協賛企業で、サステイナビリティで世界的に評価されている、DSM ニュートリションジャパン株式会社 水野慎一郎氏より「サステイナビリティな考え方と取り組み事例」についてお話しいただきました。



サステイナビリティについて説明する水野氏

「サステイナビリティとは、今ある地球をそのまま次世代に引き継いでいくことで、サステイナビリティを高めていくために、微細藻類由来の『ボタニカル DHA』がある。DHA は魚から摂取するのが一般的だが、魚が作っているわけではなく、魚が摂取する微細藻類が作り出していることがわかってきている。DHA は人間にとって必要な栄養素だが、全ての人間が必要量の DHA を魚から摂取しようと思うと、魚を絶滅させてしまう可能性もある。『ボタニカル DHA』であれば、培養して増やすことが出来るので、持続可能なサステイナブルな栄養素である。」と紹介されました。

◆ラビリンチュラ類の生態系における理解が、魚類の DHA 蓄積の謎を解く手掛かりに

続いて、基調講演「ラビリンチュラ類と系統分類と海洋生態系における役割について」として、甲南大学理工学部生物学科教授 本多大輔先生より、解説いただきました。



ラビリンチュラ類と海洋生態系についてご説明する、本多先生。

本多先生は、「『ボタニカル DHA』 を作り出すシゾキトリウムは、ラビリンチュラ類に分類され、微細藻類の仲間とすることが出来る。ラビリンチュラ類は、油を蓄積できる生物で、『石油を作る藻類』ともいわれ世の中で注目されている。現在、魚類にどんな生物が DHA を供給しているのか、まだその謎は解明されていないが、その生物の候補の 1 つが、ラビリンチュラ類である。世界中の海水中の DNA を分析すると、ラビリンチュラ類の遺伝子配列は、珪藻類のおよそ 10% に相当する量として存在している。ラビリンチュラ類の生態系における理解が、魚類の DHA 蓄積の謎を解く手掛かりになるかもしれない。これらの謎を明らかにするため、研究を続けている。」とご説明されました。

◆DSM の研究する『ボタニカル DHA』が秘める可能性

本多先生よりラビリンチュラ類の可能性をお話いただいた後、DSM ニュートリションプロダクツチャイナニュートリションサイエンス&アドボカシーディレクター チャンウェイゴ先生より、DSM の研究する『ボタニカル DHA』の機能と事例についてお話いただきました。

ウェイゴ先生は、「『ボタニカル DHA』は NASA の研究から生まれ、現在までに様々な研究がなされ、いろいろな形で使われるようになってきている。『ボタニカル DHA』は、環境に影響を与えることなく作れるので、サステナブルで持続可能な原料、魚由来ではないので菜食者向け、アレルギーフリー、遺伝子組み換えでない、海洋汚染物質や重金属を含まない、という特徴がある。DHA は脳内の脂肪酸の 10~15% を占めており、脳の中の実行機能、集中力を保ち問題を解決する記憶力、空間学習能力、事実や出来事を思い出す能力、この 4 つの分野の能力を引き出すと考えている。子供の脳内の前頭葉皮質活性、脳外傷に対する効果、妊婦の早産や低出生体重リスクの低減、などの研究が行われている。また、『脂肪酸の中の DHA・EPA の割合が 1% 上昇すると、死亡率が減少する』という最新の研究結果を、昨年 6 月に発表した。」として、これまでの研究や、現在の研究トピックスについて紹介されました。



『ボタニカル DHA』の研究結果についてご説明する、チャンウェイゴ先生

今回、総勢 29 名のメディア関係者に会場いただきましたが、『ボタニカル DHA』と魚から摂取する DHA の効果の違いや、『ボタニカル DHA』の活用事例について積極的に質問する記者もあり、盛会に終わりました。

《本件に関するお問合せ先》

ボタニカルニュートリション研究会広報事務局 担当:上野(080-5935-9522)・御船
TEL:03-5771-5588 FAX:03-5771-5524

ボタニカルニュートリション研究会ホームページ <http://bon-lab.academy>

※当日の様子を収めた写真についてご入り用の方は、「ボタニカルニュートリション研究会広報事務局」までお問い合わせください。